

イヌセンブリ

Swertia tosaensis Makino

リンドウ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内での生育地が限られている。(現況:R-)

形態

茎葉は倒披針形、長さ2~5cmで、先は鈍い。花冠は5数性で、裂片の基部に蜜腺溝があり、その周りの毛が長い。全草に苦味がないのでイヌと名づけられた。

国内分布

本州、四国、九州。

県内分布

内浦区、中能登区、南加賀区。

生態など

1~越年草、花期は10~11月。

生育環境

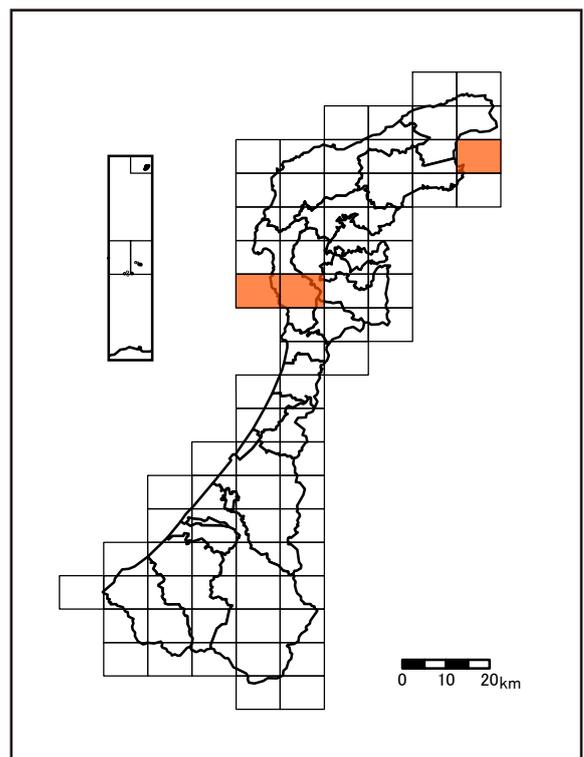
山野の湿地、池の縁。

危険要因

森林伐採、池沼開発、園芸採取、土地造成、産地局限。



小野ふみゑ・2005年11月3日・能登



県内の分布